

## 婦人科疾患の治療のため当院に通院されていた

### 患者さんの診療情報を用いた臨床研究に対するご協力をお願い

研究責任者	所属 <u>産婦人科</u> 職名 <u>専任講師</u> 氏名 <u>仲村 勝</u> 連絡先電話番号 <u>03-5363-3819</u>
実務責任者	所属 <u>産婦人科</u> 職名 <u>専任講師</u> 氏名 <u>仲村 勝</u> 連絡先電話番号 <u>03-5363-3819</u>

このたび当院では、婦人科疾患で通院されていた患者さんの診療情報を用いた下記の研究を実施いたしますので、ご協力をお願いいたします。この研究を実施することによる患者さんへの新たな負担は一切ありません。また患者さんのプライバシー保護については最善を尽くします。本研究への協力を望まれない患者さんは、その旨、上記研究責任者または実務責任者までご連絡をお願いします。

今回の研究では、子宮腫瘍、付属器腫瘍、婦人科感染症、ホルモン異常、更年期障害のことを総称して婦人科疾患とします。詳細な病名については別紙疾患名リストをご参照ください。

#### 1 対象となる方

西暦1975年1月1日以降に、当院産婦人科にて婦人科疾患の診断・治療のために通院または入院し、治療を受けた方。該当病名については別紙疾患名リストをご参照ください。

#### 2 研究課題名

婦人科疾患（子宮腫瘍、付属器腫瘍、婦人科感染症、ホルモン異常、更年期障害）の診療に関する後方視的検討

#### 3 研究実施機関

慶應義塾大学医学部産婦人科学教室

#### 4 本研究の意義、目的、方法

本研究の目的は、婦人科疾患を罹患した方を対象とし、臨床病理学的因子や予後について解析をすることで、より良い医療を提供するための基盤をつくることです。診療記録(カルテ)の中から、各種の診療情報(年齢・組織型・進行期、副作用、予後など)、血液検査、画像検査(MRI, CTな

ど)、病理検査の結果や予後のデータを抽出、収集してデータベースを作成し、それをを用いて統計学的に解析、検討します。得られたデータは学会発表、論文報告に使用させていただきます。

## 5 協力をお願いする内容

研究において利用させていただく臨床情報や検査結果は既に診断治療のために施行されたものを用いるので、患者の皆様への身体的負担はありません。また診療情報は、すべて日常の診療業務の中から生み出されたものであり、研究自体を目的として収集されたデータではありません。すべてのデータは、患者の皆様個人を直接特定できない匿名化情報として収集された上、厳格に保護されます。

## 6 本研究の実施期間

西暦 2016年3月1日～ 2025年3月31日(予定)

## 7 プライバシーの保護について

- 1) 本研究で取り扱う患者さんの個人情報、氏名と患者番号のみです。その他の個人情報は一切取り扱いません。
- 2) 本研究で取り扱う患者さんの診療情報は、個人情報をすべて削除し、第三者にはどなたのものかわからないデータ(匿名化データ)として使用します。
- 3) 患者さんの個人情報と匿名化データを結びつける情報(連結情報)は、本研究の個人情報管理者が研究終了まで厳重に管理し、研究の実施に必要な場合のみに参照します。また、研究終了時に完全に抹消します。
- 4) なお連結情報は当院内のみで管理し、他の共同研究機関等には一切公開いたしません。

## 8 お問い合わせ

本研究に関する質問や確認のご依頼は、下記へご連絡下さい。

慶應義塾大学医学部産婦人科教室 仲村 勝

連絡先： 03-5363-3819 (FAX 03-3353-0249)

以上